W 726 mm × H 527 mm　西都市選挙広報 2022- おもて

令和4年4月17日執行

西都市議会議員選挙選挙公報

西都市選挙管理委員会

【公明党公認】うらた明子（あきこ）

西都市の皆様、うらた明子と申します。
私を育んでくれた西都市のため、皆様の笑顔のためにお役に立ちたいと決意しております。
「西都に住んで良かったと思えるまちづくり」
「西都を訪れたくなるまちづくり」を目指し、女性の視点で西都市の未来を切り開いてまいります。
何卒宜しくお願い申し上げます。

プロフィール
昭和41年2月4日生まれ
［昭和57年］西都市立妻中学校卒業
［昭和59年］宮崎県立妻高校卒業
［平成 7年］宮崎県内の歯科医院に27年間勤
［家族構成］父・長女・次女
［趣　味］スポーツ観戦・ヨガ・料理研究
［特　技］ソフトボール
［党役職］公明党西都児湯支部副支部長
党県女性局次長

高齢者に生きがいを。子ども達に未来を。働く人に希望を。

うらた明子の3大ビジョン
○安心して子供を産み、育てやすいまちづくり
○高齢者が安心して暮らせるまちづくり
○命を守るまちづくり

岩切一夫（いわきりかずお）（67歳）

○宮崎県農業大学校卒業
○九州青年の船 OB会
○西都市PTA会議理事長
○妻南小PTA会長
○西都中学校PTA連絡協議会長
○妻中学校PTA副会長
○西都市農業委員
○現市議会議員

つづけます!! 「私が取り組む最重点事項」

これまで三期十二年、大志を胸に私なりに一生懸命に市議会活動に参加してまいりました。誠実さをモットーに、元気のある西都づくり活動に取り組みました。

今回、さらに四年。緊急を要する重要課題の克服のため、再び市議会議員としてお役に立ちたいと切望しております。住民の皆さまはもとより、市長をはじめとした市役所職員の方々、市議会議員各位と切磋琢磨し諸問題に取り組みたいと考えております。

更なる四年は、具体的なご提案を行います。

岩切一夫へ各界各層の応援宜しくお願いいたします。

①農業後継者問題
②燃油高騰対策
③医療センターの脳疾患、内科疾患における二次救急医療の充実
④防災問題　対策
⑤広域教育の充実

太田ひろふみ

七一歳

元 農林振興課長
元 新田原基地対策調査委員長
元 議会災害対策委員会委員長
元 総務財政委員会委員長
現 西都市農業委員会委員長
現 交通安全協会三一町支部長
現 西都市監査委員

私の信条

◎農業経営に意欲が持てる環境づくりに努めます。
◎高齢者が生きがいの持てる住みよい地域づくりに努めます。
◎市民の皆さんが安心して受診できる医療体制の確立に努めます。
◎市民の皆さんが安心して生活できる行財政改革に努めます。
◎市民の皆さんから親しまれ理解できる議会改革に努めます。
◎子供たちが安心して学習できる豊かなこころが持てる教育環境づくりに努めます。
◎将来を担う若者が安心して生活できる雇用の場の確保に努めます。

皆様方の温かいご支援により、西都市議会議員を三期十二年させて頂き深く感謝申しあげます。西都市の現状は、少子高齢化・人口減少・農業振興対策・地域医療対策など多くの課題が山積しております。

「やりがいのある農業・住みよい地域づくり」を基本理念として、再度西都市議会議員への立候補を決意したところであります。皆様のなお一層のご支援・指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

中武くにみ（現）

現　議長
現　宮崎県立妻高等学校
　　駐輪場管理事
元　西都市監査委員

ごあいさつ

多くの市民の皆様のご支援により4期16年間市政運営に携わる事が出来ました。また、今期は議長を務めさて頂き、私にとります。

出来たと自負しております。

私は今後も市民の幸せを願い「主権者は市民である」事を常に念頭に置き活動して参ります。

今後とも市民の皆様が豊かで幸せな生活を送れる地域社会実現の為、16年間の経験を活かし初心を忘れる事なく最大限の情熱と行動力で更に頑張る決意であります。

これからも皆様方の一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願いします。

きたおか四郎（現）

保守系無所属

現　西都市水泳競技会顧問　元　西都市農協理事
元　県ニラ協議会部会長　元　穂北中学校PTA会長

市民とともに歩む
議員活動をします！

是々非々の立場で、市民とともに歩む議会運営を目指し5期目に挑戦します。

市民の代弁者として、皆様の声に真摯に耳を傾けながらこれからも議会毎に毎回一般質問に立ち、更に市政への提言等を行います。足を引っ張るのではなく市政発展のため手を引っ張る、前へ前へが私の信条です。

最優先課題の取り組み
◎西都児湯医療センターの再建
（脳外科手術を含む二次救急医療の提供）
◎議会改革の推進
議会基本条例の制定
◎人口減少に見合う地域再生
広域行政事業推進等の提案

井上ひさあき（73歳）

現　宮崎県もみずり業連合会会長
現　西都市もみずり業組合副組長
前　西都市三税組工会会長
元　西都市議会議長

皆様のありがたいご支援で六期二十四年議会活動地域の問題解決に邁進してまいりました。七期目の挑戦にあたり、初心にかえると共にこれまで培った経験を糧にさらに頑張る決意でございます。

新型コロナ感染症は第六波に入り私たちは新しい生活様式を強いられ、変異するウイルス感染症と社会生活を共存する時代になり、皆戸惑い若干心配しています。

西都市は人口減少に加え、高齢化率は現在三八％を超え、あと三年後には三五人に一人が六十五歳以上、四人に一人が七十五歳以上という今までに経験のない超高齢化社会が訪れます。七十歳の子どもが九十歳の親を看る老々介護です。高齢者は車の運転もままならない。そんな日が必ず訪れる方がの求めている問題は「西都児湯医療センター」の医療体制についてではないでしょうか。必ず訪れる方が、中でも住民の誰もが不安に思い早急な解決を宮崎市まではとても運転できないし、まして通うことなど困難です。

安心安全に暮らすためには「西都児湯医療センター」の二次救急医療施設としての充実がどうしても必要です。

私は一日も早いこの問題の円満解決にもう一歩、努力していく覚悟でございます。超高齢化の中でも「元気みなぎる西都市」であるべく変わらぬ情熱と行動力をもって何事にも立ち向かってまいります。

皆様の一層のご指導と絶大なるご支援をいただきますように、心よりお願い申し上げます。

橋口としろう（はしぐち）

明日の西都づくり
～二次救急医療の復活～

西都市の人口が３万人を切りました。

全国的に地方都市の人口減が危惧されています。

しかし私は「西都市」は*可能性あふれる市*だと信じています。その理由は

・自然豊か・記紀の歴史
・南海トラフ地震による津波災害へ対応できる位置
・宮崎市との時間的距離の近さ

私は人口減対策を含めた西都創生をやっていきたい。

そのためには次のテーマが鍵を握ると信じ活動します

① 二次救急医療の復活
―脳疾患等の急性期疾患から命を守る―

② 教育と文化
―文武両道―

③ 地方創生
―移住定住施策と市街地活性化―

昭和三十一年三月生
日向高校卒業
東京大学経済学部卒業
現　西都商工会議所会長
現　宮崎県立看護大学客員教授
現　西都市小・中学校PTA協議会会長
元　宮崎県農業大学校学生部長
元　西都市議会議員（空手道場）

米良わたる（めら）

九州大学大学院農学研究科博士課程修了
元宮崎県農業大学校長
元宮崎県児湯農林振興局長
元三納地域づくり協議会会長
現議会改革特別委員会委員長
現産業振興常任委員会委員長
農業（三納会社・トマト栽培）

九州大学大学院農学研究科博士課程修了

１期目の４年間「みんながそれぞれの環境で活躍し、住み慣れた土地で安心して暮らせるよう西都市をパワーアップ」を目指して、特に交通弱者対策や地域医療・福祉対策に取組むとともに、光回線高速通信網の整備、地域産業等の育成強化、そして議員定数削減・委員会公開などの議会改革等に取り組んでまいりました。

西都市はこれから人口減少・超高齢化社会を迎え、加えて新型コロナウイルス感染症に対応した社会経済活動の再建など大きな課題に直面しています。

私はこれまでの経験を活かし、「みんなが活躍　みんなが輝く　活力ある西都市にパワーアップ」を目標に、さらに西都市発展のため力を尽くしてまいります。

米良わたるにぜひともご投票いただきますようよろしくお願い申し上げます。

みんなが活躍　みんなが輝く
活力ある西都市にパワーアップ

1　住み慣れた土地で安心して暮らせる生活環境の整備を図ります。
2　農林業・商工業・観光業の連携を強化し、西都市の持つ潜在力を活かした産業の活性化を図ります。
3　安心して子供を育て、夫婦ともに地域社会で活躍できる環境づくりに取り組みます。
4　中心市街地の活性化と市内全域での地方創生を目指したまちづくりを推進します。

いき秀光（ひでみつ）（47歳）

現　宮崎県もみずり業連合会会長
現　西都市もみずり業組合副組長
前　西都市三税組工会会長
元　西都市議会議長

誇りと誉れをもてる郷土へ

基本姿勢
※ 市政の発展と市民福祉の向上をみんなで「学び・感じ・考え・描き・築く」環境づくりを目指します。
※ 市の歴史や歩みを次代の礎に若者や子どもたちが夢や希望を「抱き・語る」故郷づくりを目指します。
※ 地域の身近な「アンテナ役」として使命感と責任感を持ち、課せられた課題に対応していきます。
※ 自分が「住みやすい・託したい」地域づくりを常にイメージしながら活動します。
常に可能性を探求し「想い・願い・希望をカタチへ」つなげるよう努めます。

「行財政運営」の推進
※ 市政情報の「公開・提供・共有・交換」
※ これからの議会のあり方
※ 安全かつ良質な市民サービス
※ 財政基盤の強化持続可能な自治体運営

「産業」の推進
※ 園芸・畜産・林業・水産業の振興
※ 生産・加工・備蓄などを一体化した日本の「食糧庫」
※ 幅広い公共事業への参入促進
※ まちの活性化とにぎわいづくり

「医療・保健・福祉」の推進
※ 高度な救急医療と地域医療体制
※ 周産期医療・小児疾患・婦人科医療など
※ 健康寿命の延伸・各疾患や介護の予防
※ 地域・医療・保健などが連携した地域福祉

「教育・文化・観光」の推進
※ 小・中・高等学校での「命の授業」の実施
※ 中学校両編後の施設利活用
※ 地域文化の継承・発展
※ 観光資源を活かした新たな収益事業

令和4年4月17日執行

西都市議会議員選挙選挙公報

西都市選挙管理委員会

投票日 4月17日（日）

午前7時から午後6時まで

（東米良地区は午後４時までです）

投票入場券で投票所と投票時間を御確認ください。
投票入場券がない場合でも、選挙権があることが確認できれば投票できます。各投票所の職員におたずねください。

選挙公報をよく読んで清き一票を投じましょう。

みんなで投票
みんなで参加
あなたの一票大切に

W 726 mm × H 527 mm　西都市選挙広報 2022- うら

令和４年４月１７日執行

西都市議会議員選挙選挙公報

西都市選挙管理委員会

はぎわら大輔の政策

はぎわら大輔（だいすけ）

現在、西都市の医療は入院が必要な患者の62%は宮崎市などに頼っており、さらに、救急車で運ばれる患者の44%は西都市外に搬送されています。また、次世代を担う子どもたちの医療費も小学生以上は1診療あたり、1000円を自己負担している状況です。

私は、市民のみなさまに優しい医療をお届けするために以下の**2点の実現を目指します!**

①高齢者に多いとされる、脳疾患、心臓疾患等の高度医療に対応できる**西都児湯医療センターの再建**を目指します。

②子育て世代の負担軽減として、**中学生までの医療費の無償化**を目指します。

プロフィール　1978年（昭和53年）5月に生まれ、児湯郡都農町で育ち、高鍋高校を卒業しました。その後、愛知県の看護専門学校を卒業し、2000年から2021年までの22年間、看護師として3つの病院で働きました。

西都児湯医療センターで働いていた時に地域医療を行う上で、医療センターの必要性、重要性を強く感じ、看護師経験を政治に活かしたいと活動を始めました。

西都市で生涯を過ごす事を決意し、居住して5年になります。只今、愛する西都市で３人の子育て真っ最中です。

私のこれまでに培った医療従事者としての経験を活かし、政策を実現させます!

この地域に更なる元気と
安全・安心の地域づくり
よしあきが目指す
新５つの基本政策

① 住民の安全・安心を目指して
② 活力ある農業を目指して
③ 健康な未来こどもづくりを目指して
④ 福祉共存社会を目指して
⑤ 明るいまちづくりを目指します

若さと情熱で
西都の未来を

村上よしあき　３８歳

プロフィール

1984年2月	神奈川県藤沢市に生まれる （生後３ヶ月西都市都於郡に移住） 西都市立都於郡小学校　中学校卒
2002年3月	宮崎県立泉高等学校卒 在学中　生徒会長を務める
2006年3月	私立別府大学卒 芸術文化学科日本画専攻
2008年4月	光照寺副住職
	西都青年会議所　現在に及ぶ
2018年4月	西都市議会議員初当選 総務常任委員会委員 新田原基地対策調査特別委員 西都市消防団第6分団２部所属
2020年4月	西都市消防団第6分団２部部長 豊後落ち歩こう会会長
2022年1月	西都青年会議所　副理事長

令和４年４月１７日執行

西都市議会議員選挙選挙公報

西都市選挙管理委員会

わたしの想い　めざすもの！

たづめよしこ

無所属
市議会議員
保護司
県スポーツ少年団常任理事

女性の声が活かされる西都市

- 市街地活性化に向けた取り組みと農地保全への取り組み
- 食を通した市民の健康づくり
- 農産品の魅力発信と消費拡大

子育て支援への取り組み

- 病児・病後児・障がい児保育の充実
- 登下校時の安全対策
- 三歳児健診の充実

教育（知・徳・体）と人材育成

- 生涯スポーツを通した体力づくり
- 地域リーダーへの応援
- 地域文化保存と伝承教育の推進

得意分野はＩＴ!!

新世代の幕開け！市民目線で地域創生

いいむれ まちこ　44歳
都於郡在住

◆誰もが住みやすいまちづくり
誰もが不安なく暮らせる支援の見直しや
担い手不足など地域課題の解決に挑みます

◆コロナ禍における教育環境構築
休校時の対応、ICT 教育環境など
不登校の子どもたちへの学びの補償への提言

◆医療・各種手当の見直しと充実化
医療センター問題の早期解決を目指します
市の財政はみんなのお財布！

◆相談しやすい環境づくり
座談会の開催やネット窓口など
様々な相談窓口をわかりやすく！

公式サイト
いいむれまちこ　で検索

【ごあいさつ】
私たち４０代子育て後半世代は、これから高齢者に向かって行くと共に、若者との交流もはかりやすく、両世代の声をつなぐには最適な世代です。

市民の目線に立ち、平等で心豊かに楽しく過ごせるまちづくりを目指します！

プロフィール
自営業（企画・ＩＴデザイナー・パソコン相談）
現　都於郡地域づくり協議会 企画委員会
NPO 法人 輪プロジェクトみやざき 広報
宮崎日伊協会・都於郡郷史文化研究会など

次への一歩！

山地まさお（やまじ）　41歳

〈政治姿勢〉
1　歴史的資源を活用した観光・商業の創出
2　子どもたちの夢と郷土愛を育む教育
3　安心して暮らせる地域医療の充実

3つの政策

観光・商業
①わくわくする商店街づくり
②観光を活かした経済効果の創出
③事業の後継者や雇用環境の育成

子育て・教育
①子どもたちの夢を育てられる教育
②知育に繋がる環境づくり
③西都市給付型奨学金の設置

暮らし・医療
①看護医療の充実化
②産婦人科、小児科医師の誘致
③魅力あるコミュニティづくり

<プロフィール>
西都市生まれ
宮崎県立妻高等学校卒業
帝京大学文学部史学科卒業(学芸員)
オーダースーツ販売店経営
自由民主党西都市支部青年局長

荒川　としみつ

ごあいさつ

五度、西都市議会議員選挙に立候補の決意をいたしました。今まさに、本市の医療の危機にあります。現在の西都児湯医療センターでいいのか、かたや以前のような医療体制に戻すべきなのか、決断の時期です。私は昨年、我が子が、脳疾患により体が不自由になってしまいました。

そのような境遇に置かれた立場からでも、この事は如何に重要なことなのか人一倍自覚しています。そのようなことも、緊急性の高い脳疾患や内科疾患の医療体制の存在を重要視する一人であります。しかし、現在は前のような医療体制には戻すべきではありません。今の課題を解決に導いて、市民たち、私新型コロナ、医療体制の中が混乱しているまた、様子をメディアから伝えられています。戦没者、遺族の方々の構築に以前のように努力中にあります。

このような戦争の一日としてまた、毎日毎日、爆撃なこと、ウクライナに、ロシアが、悲しいことでもあります。その中に、無意味な幼稚な判断で、関係のない子どもたちや住民が殺され、日本国内では、燃油や食料品等の価格が値上がりし、逆に米価等に関しては下がり、新型コロナや日本人の米離れが影響しているものだと推察します。

ここ、このまいけば日本の自給率の低さが露呈した形になり、様々な品物が値上がりする。特に、農業は、そして西都の農業は、高齢化と合わせ衰退する一方です。

何とかこのような状況を打開するためにもしっかりと農業行政にも着眼し、四期16年で培った実践と経験を活かし、先を見据えた西都市の方向性をしっかり推言していきます。

この選挙公報掲載文が、皆様に届いた時にはウクライナ情勢が収まっていることを切に願います。皆様のご理解と温かいご支援、ご支持をいただけますように、よろしくお願いいたします。

浜砂いわお

座右の銘
「伝統を尊ね、未来を智る」

東高第二八期卒、福岡大学土木工学科卒
西都市役所退職（令和五六年七月末日）
西都市議会議員（令和二三年一二月）
西都市消防団第一分団第一部団員
議員顧問公民館長・都上公民館監査
自治会長・区長・ボランティア
西都市区長会会長
調査研究委員（農地・水・環境整備）
宮崎県保護司会西都支部長
調査研究委員（農業事務局）
宮崎県ソフトボール・種審判員
日向山地の生活道・農業神社・種審事務局

『市政は、市民の為のもの　市民とともに、市政を考えます。』

私は、行政経験と地域活動に参加し、市政と市民の課題共有の必要性を感じています。

市民生活は、人口減少と高齢化社会の到来及び異常気象・コロナ渦・国家間の対立などを起因とした経済不安が懸念されています。さらに、自治会等の市民活動では、担い手不足及び役員重複が生じ、一人ひとりの負担が増加傾向にあり、組織が衰退し地域の絆が希薄になりつつあります。特に子育て世代は、育成会活動や利便性を求め地域から流失する。この悪循環をたどり、代々継承されてきた伝統文化・芸能が失われ、このままでは「心のふるさと・誇れる西都市」の未来を危惧するのは、私だけではないと思います。

これら課題は、全国の自治体が懸念し、政府も地方創生に取組んでいますが、解決に至っていません。なぜなら、地域にはそれぞれに育まれた文化・芸能・産業など地域特性の生活慣習があり、画一的なトップダウンでは到底解決できるものではありません。

私は、市民および次世代を担う若者とともに「何が必要か」、「何をすべきか」について考え、市政とのパイプ役として「ふるさと西都」活性化の寄与に今後も努ず努ます。

「住み安い、住んでみたい」
市民生活の環境整備に努めます。

○地域伝統文化・芸能の継承
○「地域づくりによる協働社会
○青少年の地域での社会教育環境づくり
○市民と市役所・県・国及び活動団体との連携
○市民窓口業務の横断的連携によるワンストップ
○市民ニーズと市政のマッチング

森ゆうこ（もり）

大切なふるさと『西都市』を、もっと暮らしやすいまちへ

宮城県仙台市にて東日本大震災に罹災、民間企業にて住宅の復興に携わってきました。ふるさとが変わり果て、そこから立ち上がり再建していく方々の姿を目の当たりにしたことで、ふるさとを想う気持ちを強くしました。

「ふるさとを想う心」「民間企業にて培われた知識や経験」をもとに、もっと暮らしやすいまち、西都市を目指します。

森ゆうこの政治理念

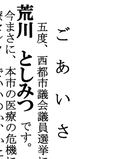
❶みんなの声をよく聞き対応します。
❷しがらみの無い新たな目線と発想で対応します。
❸素早い決断力・行動力で対応します。
❹未来へ責任のある行動で対応します。

学歴
1999年 都於郡小・中学校
2002年 宮崎第一高等学校 文理科
2006年 お茶の水女子大学 生活科学部

職歴
2006年 大和ハウス工業㈱
2012年 東建コーポレーション㈱

資格・免許
・日本茶インストラクター
・中学校教諭一種免許状(家庭科)
・高等学校教諭一種免許状(家庭科)
・宅地建物取引士

無所属・新人
38歳



くろぎ　吉彦（よしひこ）

九州産業大学工学部卒業
現　市議会副議長
元　西都市消防団第六分団長

ごあいさつ

私は、皆様の温かい支援を賜り、「活力のある安心・安全な西都！」をスローガンに掲げ、五期目に向け、立候補することを決意しました。

今、西都市は、人口減少の時代を向かえ、少子高齢化が進む中、政治・経済とも厳しい状況であり、将来に向けた「安心・安全な住み良い西都づくり」がみんなの願いであります。

そのため、私は

①農林業の振興に努め豊かな西都づくりを目指します。
②商工業の発展のため、市街地の活性化を図ります。
③豊かな心をもつ子どもたちの育成と、子育て支援の拡充を図ります。
④社会福祉の充実を図り、高齢社会に適応する社会づくりを目指します。
⑤医療センターの充実を図り、安心して暮せる地域医療を目指します。
⑥コロナ感染で影響を受けた方々の支援の拡充を推進します。
⑦地域のインフラ整備を推進し地域発展のため、住民の声を行政に届けます。

私は、四期一六年の政治活動の経験をいかし、皆様と共に、全力で頑張っていく所存であります。皆様の一層のご指導と、絶大なるご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

井上つかさ

現　公益財団法人 日本民間協会 教授
現　宮崎県民医会副会長
元　西都市議会議長

子どもたちに夢を　地域に活力を

1　夢と希望を持つ子どもたちを育てることに励みます。
2　農業後継者の育成、若者が定着できる産業づくりに努力します。
3　後期高齢化が進む中お年寄りに耳を傾け、安心・安全な福祉につとめます。
4　西都市の魅力ある歴史と魅力ある古代歴史文化を活かし、交流人口増に努力いたします。

やるしかない、安全・安心の
豊かな西都市づくり　一生懸命!!

力を合せ　**新病院建設・２４時間救急医療**
いのち暮らし守る市政の実現を

日本共産党公認
かりの保夫（やすお）

皆様のご支援にお礼を申し上げます。私は、市民の願いを市政に届け、その実現に尽力するとともに〝是々非々〟の立場で市政を厳しくチェックしてきました。

私は、コロナ禍の下、いのち暮らし守る市政実現に全力をあげるとともに、市政刷新できる新しい議会をめざします。

皆様の**かりの保夫**への温かいご支持をお願い致します。

皆様とご一緒に実現をめざします

- 市民の悲願である新病院建設と２４時間救急医療の早期実現を
- 無料のＰＣＲ検査、自肅と一体での営業補償と支援対策を
- 国保税・介護保険料の引き下げを
- 医療費助成は高校卒業まで拡充を
- 乗り合いタクシーの運行地域の拡充で交通弱者対策を
- 住宅リフォーム（住宅改修支援）事業の継続と拡充で活性化対策を
- 燃油高騰や後継者対策など農林業への支援対策を
- ジェンダー平等の社会、ＳＤＧｓの推進で持続可能な社会の実現を
- 新田原基地の危険な米軍基地化に反対し平和な郷土を

略歴
・市議会文教厚生常任委員会副委員長・同新教急医療対策調査特別委員会委員長
・宮崎民主商工会顧問
・宮崎県民医会顧問
・宮崎市中部区委員
・宮崎西都市委員長
・現市議11期74歳　上妻